



身体測定始まりました！

学校では、今日から身体測定が始まりました。コロナウイルス感染症予防のため、学級ごとに主に体育館で行われています。身長・体重測定、視力測定、聴力測定とあり、その準備もたいへんなのですが、保健委員会の子供たちが朝から協力してくれています。健康診断というのは、子どもたちの健康のために、そして子どもたちを指導し、担任にとって、結果をしっかり受け止めながら、健康へのよりよいあり方を考えていきかけとなります。また、子供たちにとっては、ただの健康確認ではなく、体への意識を高める教育の場となると思います。

今日は、6年生の身体測定が1時間目から行われていました。「身長伸びたかな?」「最近視力が落ちたかも!？」など呟いている子供たちの姿がありました。中心となって計画・運営している杉本養護教諭に健康診断について尋ねると、「コロナ禍における生活の変化や、オンライン授業の導入などの影響は、健康診断にも顕著に表れています。子供たちには、そのことを自覚し、より健康に過ごすためにはどうすればよいか考える力を身に付けて欲しいです。」と述べていました。



視力測定の様子

朝の交通安全指導

今年度も朝から交通指導員の方々や、PTA・子ども会の皆さんによる、朝の交通安全指導が行われています。朝から自主的に子供たちの安全と命を守るために、毎日立ってくださる方もいます。朝から、通勤のための車が多いのですが、比較的狭い道路でもスピードを出す車が多いようです。その車を、黄色い旗によってスピードを調整したり、一旦停止させたりと交通指導は、朝の登校風景にとって無くてはならない存在だと感謝しています。

今日一年生の教室を覗いてみると、一年生のお子さんが、私に手招きをしてきました。私がお子さんに近付くと、自分が描いた絵を見せてくれました。そこには交通指導をしている私と、帯西ブルーのイラストが一番上に描かれた絵がありました。一年生の子供ながら、「命を感じる心」を理解しているのだと思い、微笑ましくなりました。

